

第104回全国高等学校野球選手権大会 出場 2年生にして帝京第五の 野球部を支える

高校球児

國方 蓮さん

Ren Kunikata



キラリ東温この人なう No.94

輝く人にインタビュー

「経験は忘れられない、今でも刺激し合える仲間です」そう話すのは帝京第五高等学校2年生の國方蓮選手。

國方選手の所属する帝京第五高等学校は第104回全国高等学校野球選手権大会愛媛大会で優勝し、甲子園でも強豪相手に健闘した。「強みは猪突猛進なところ。どんな相手が増えても全力で向かうことができる」と小林昭則監督は話す。県大会決勝では2年生ながらロングリリーフを任せられ、チームを甲子園に導いた。

國方選手は南吉井小学校出身でドリームズスポーツ少年団に所属していた。6年生のとき東温市を離れたが、東温市で過ごした日々は野球人生に大きく影響している。

「ドリームズの仲間とは今も連絡を取っています。多くの人は優勝を喜んでくれましたが、親友には悔しいと言われました。ドリームズで過ごした日々はかけがえのないもので、今も刺激になっています」目標は甲子園出場から甲子園で1勝でも多くとることに変わり、日々努力を重ねる。

編集後記

彼岸が終わりシキミの生産もひと段落したところ。思季美線香の取材で線香は井内地区の皆さんの知恵の結晶だと感じました。故郷の懐かしい自然溢れる匂いにぜひ癒されてみてください(和田)

色付いた木々と澄んだ青空のコントラストがとても綺麗で、通勤中の車で息をのむことがありました。ふとした景色や身近な景色などにも、隠れた魅力が眠っていることに気付かされました。これから秋も迎え紅葉の季節。今から楽しみです(渡部)

目次 Contents

02_特集 全国への挑戦者 小中高生のひと夏／06_PICK UP 思季美線香 心に香る、思いに香る／08_スイッチとうおん／14_子育てガイド／16_ふれあい広場／20_情報BOX／26_暮らしと健康のカレンダー／28_キラリ東温この人なう